

96.11.30

PFX船着B改造 5セグ-下流部検討メモ

1. 日時 96.11.29 (金) 16H~19H

2. 場所 KEK3号館 7F会議室

3. Xメンバー KEK: 橋本, 小川.
名阪: 飯野

4. 検討資料	橋本資料		10-20枚
	(1) 新5-8ユニット構想		2
	(2) ECS設置計画		1
	(3) SY3現状とB改造後		2

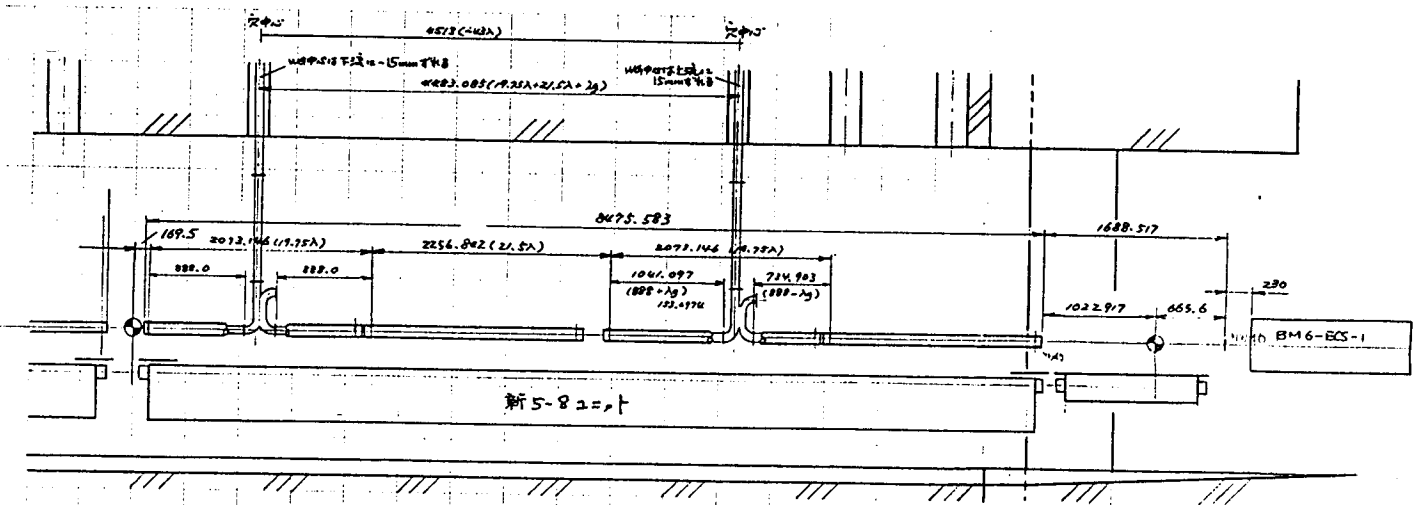
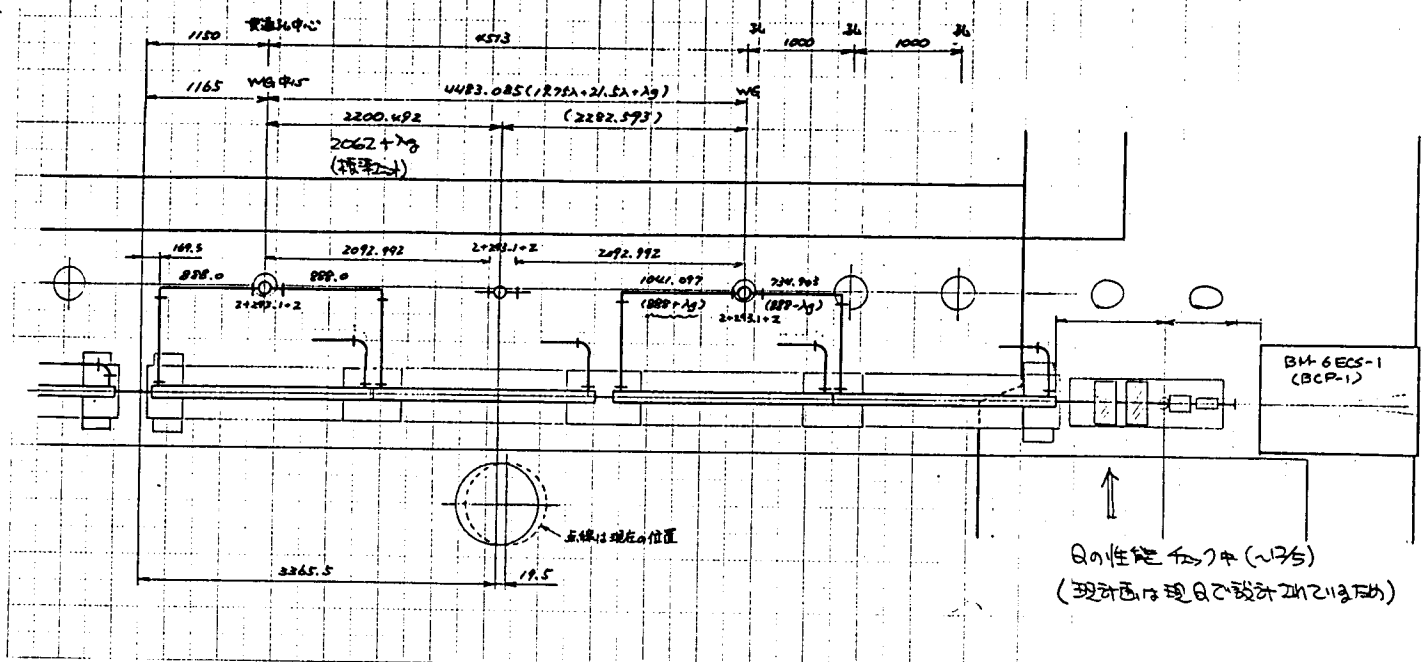
5. 検討結果 (1) 4-(1)

- ① WG元上り位置 200Aと15mmずれているがOKとする。
- ② SLEA位置が19.5mmずれる事になるが、これはユニット側でずらす。----- ①+19.5 OKか(?)
- ③ H8冬~H10夏の向の対策要
 - ① ビーム
 - ② 光軸管・アライメント
 - ③ 5-8下流Q設置
 - ④ SY3のアライメント基準点の構築

(2) 4-(2)

- ① WGIL上の見直し要
- ② 旧PG2m管, 同4m管中央架台を伴ったユニット構成の計画図の作成。

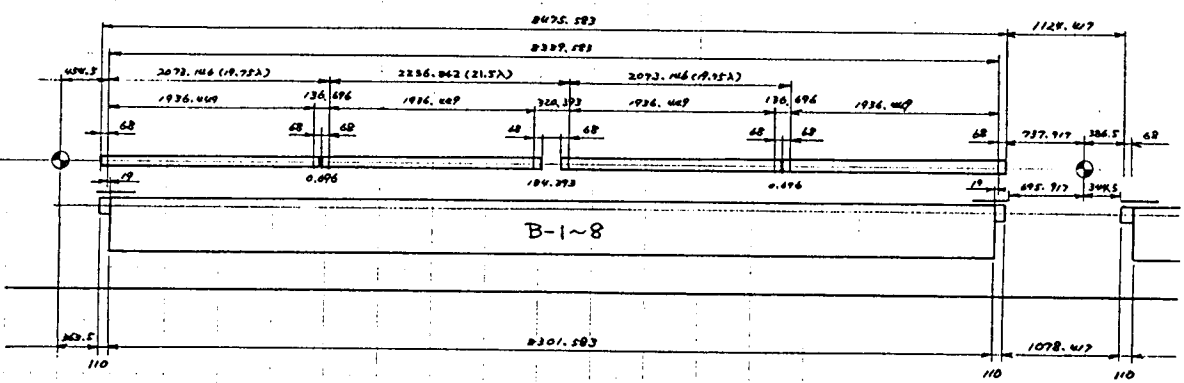
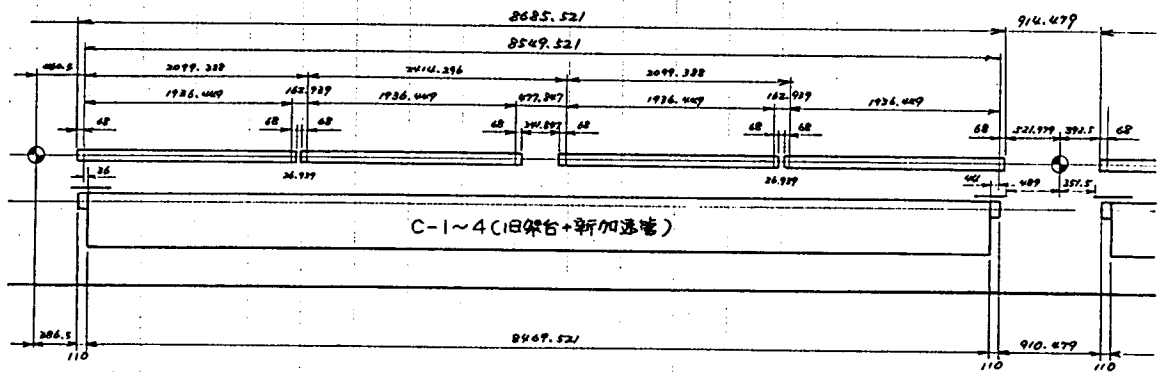
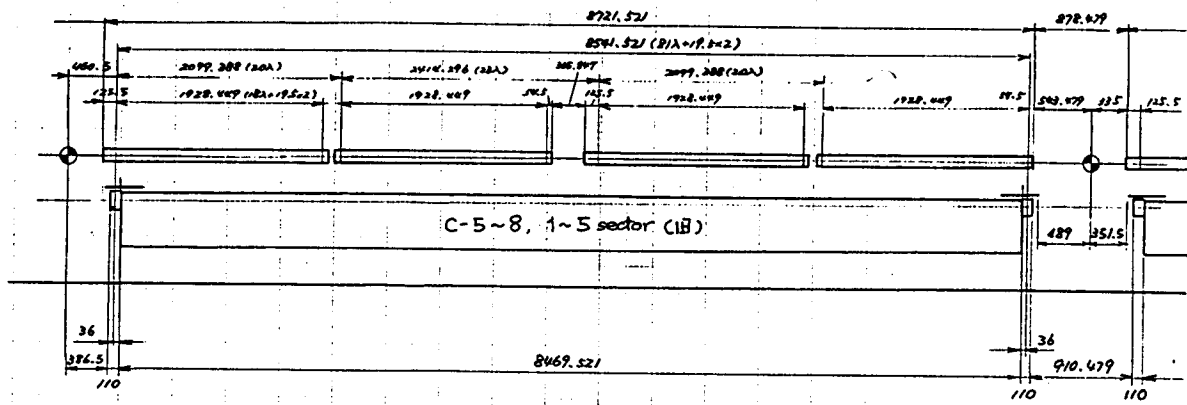
(以上)



新5-82=ト構想 (H10要完成)

- (1) W弁直上) 200A < 15mm 7H211B2 ... (OK)
- (2) SLEDを195mm 75才 → 取止は 2才側を75才に交換 --- (1)直かOKか(?)
- (3) H8巻 ~ H10巻まで取止地 対策 (1) ① ② ③ ④

1/2 (木) 13:30 ~ 3時 4F 会議室



現状

1830BT 974E=9-種
A B C 中量棚 D

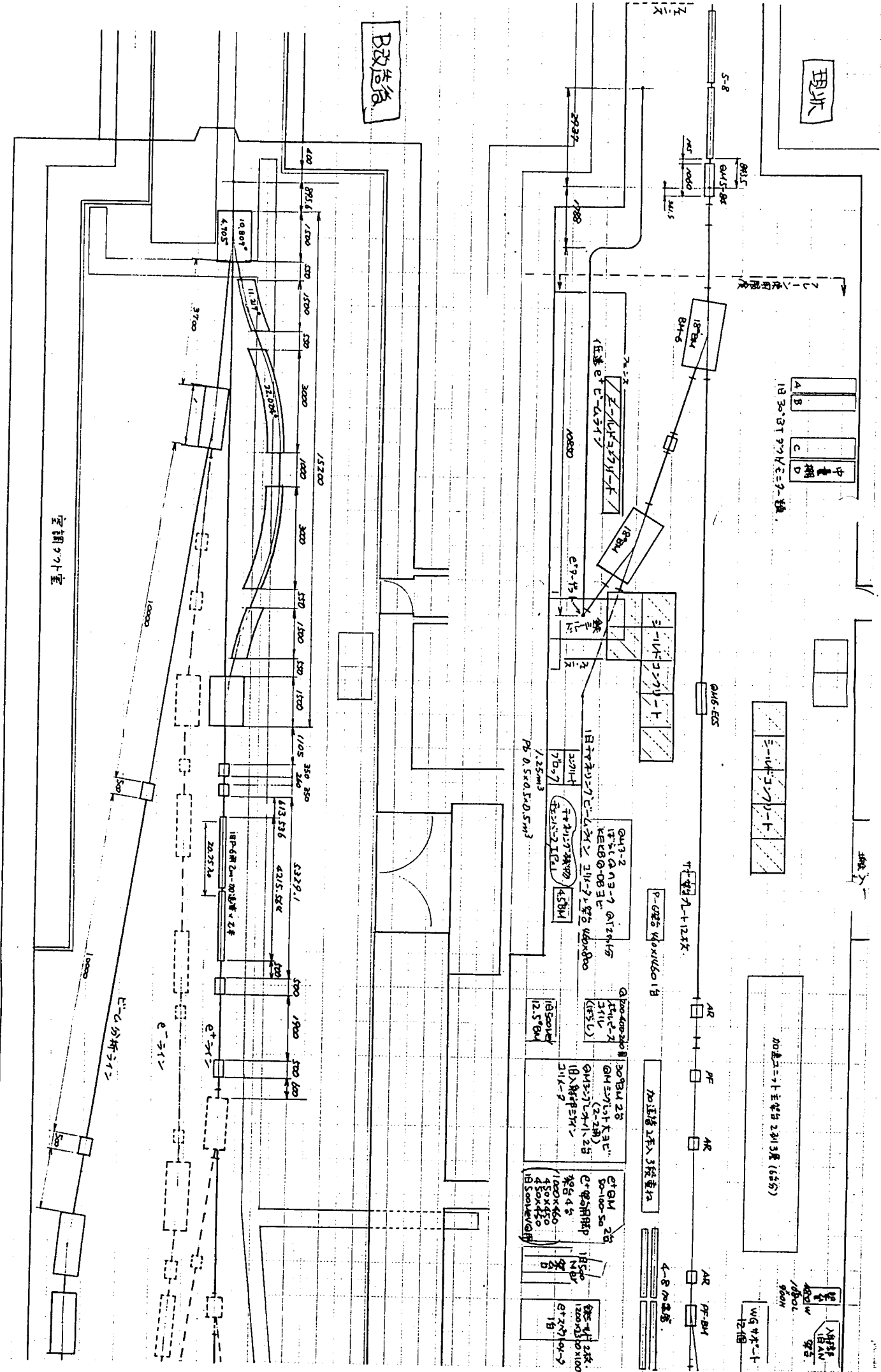
加温コ-ト主室を2割3層(65分)

400w
900w
W/G 4本-1
12-個

B改造後

空調9ヶ所

エ-キ
エ-キ分折5ヶ所

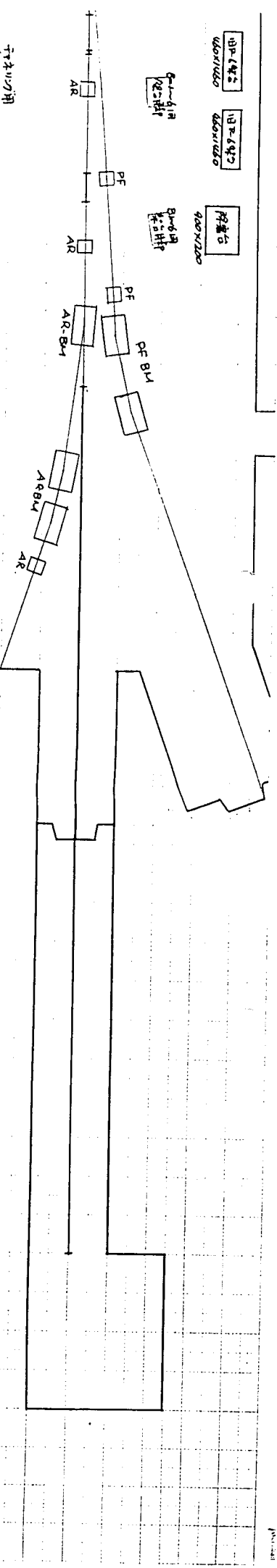


SY3 現状とB改造後

IBP-442
450V/1250

IBP-442
450V/1250

920V/2200
920V/2200



7.5kW用
500x500
x500
E=2.0
5.15.20
70.57
8m³

SSCFHBMAG
2E2L10.3

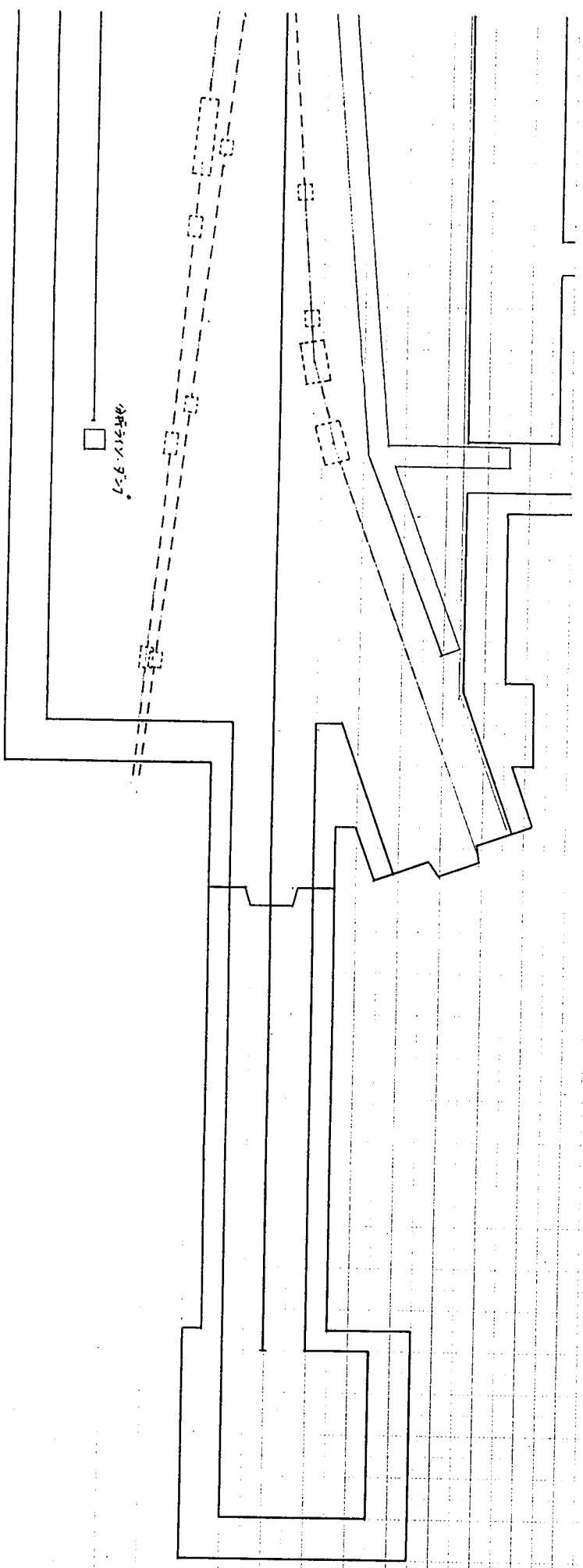
QW1-1~3)3台
QW1-4~7)8台
QW2-1~2)8台

BT97HBMAG
~34台

303BH STM 7台

BT97HBMAG
~34台

BT97HBMAG
~34台



BT97HBMAG

15
40
45
50

96.11.28

PF入船倉 B改造 「旧e+床基礎70Lト」

清水建設(株)(旧床基礎70Lト切断除去)は実施の結果、コンクリート切断機では切断不能となった。切断はガス切断又はアズマ切断も考えられるがコスト増大に耐え難いとの問題もあり、急拠代案を検討する事となった。

1. 日時 96.11.28 13:30'~14:30'
2. 場所 KEK施設部 打合せ席
3. メンバー KEK施設部:
 入船倉: 大沢, 橋本, 大塚 (各2名)
 清水建設: 河内川
 名坂: 鶴野

4. 検討結果
 - (1) 旧e+床基礎70Lトにかかるとの9枚あり。
 - (2) 旧e+床基礎70Lトに新床基礎70Lト(+25)を直接乗せて、部分溶接で止める。
 - (3) 旧e+床基礎70Lトのまわりのコンクリートは盛りとっているので新床基礎70Lトが乗る所は しっかり作って降去し、後で仕上げる。
 - (4) 旧e+床基礎70Lトと新床基礎70Lトの相対位置がギリギリのものあり。これは新床基礎70Lトを少しずらす。溶接出来る様にする。ずらし量はMAX 20cm。これを越える所は旧e+床基礎70Lト全体を撤去する。
 - (5) 新床基礎70Lトのかどの形状は ① 4コーナーはC10
 ② 上面のかど全周をR2位で丸める。
 (以上はサンク仕上げとなる。)
 - (6) 天板の架台筋は全て25mm対筋品につき、特に処理は不要。但し直接乗せの所はスパーサーは不要となる。

- (7) その他の実運情報.
- ①旧 e+電子銃室の天井部貫通穴φ32(φ60包)はコンクリートに近いので埋める。
 - ②A-1部の手前で B-C セクタ-エッジ配線ラックは Bセクタ-側がトンネルを横断して12.2mほど立管と干渉する所あり。配線ラックのう回又は部分切除が必要。
 - ③Cセクタ-部トンネルがB側の配線ラックが設計図では(1床面より)500mm まで垂れる。=10m社L-30m穴の中心。がB側に入る必要あり。
 - ④旧 e+トンネル床基礎70L + Bセクタ-用の設置位置の1枚が排水トンネルにかかっている所の水路対策は、半割りの塩ビ管を埋め込ませる事(河内さんより)
 - ⑤10m社L-30m穴の半割り-床面部 埋め込み100mmが床面と面-になっている所は 同-100mm ± 20mm(床面より)でいぶす様に追加する。
施工法については清水建設で立案の上、大沢先生へ報告。

(以上)

PF入射器 B改造「アライメント強化」対策

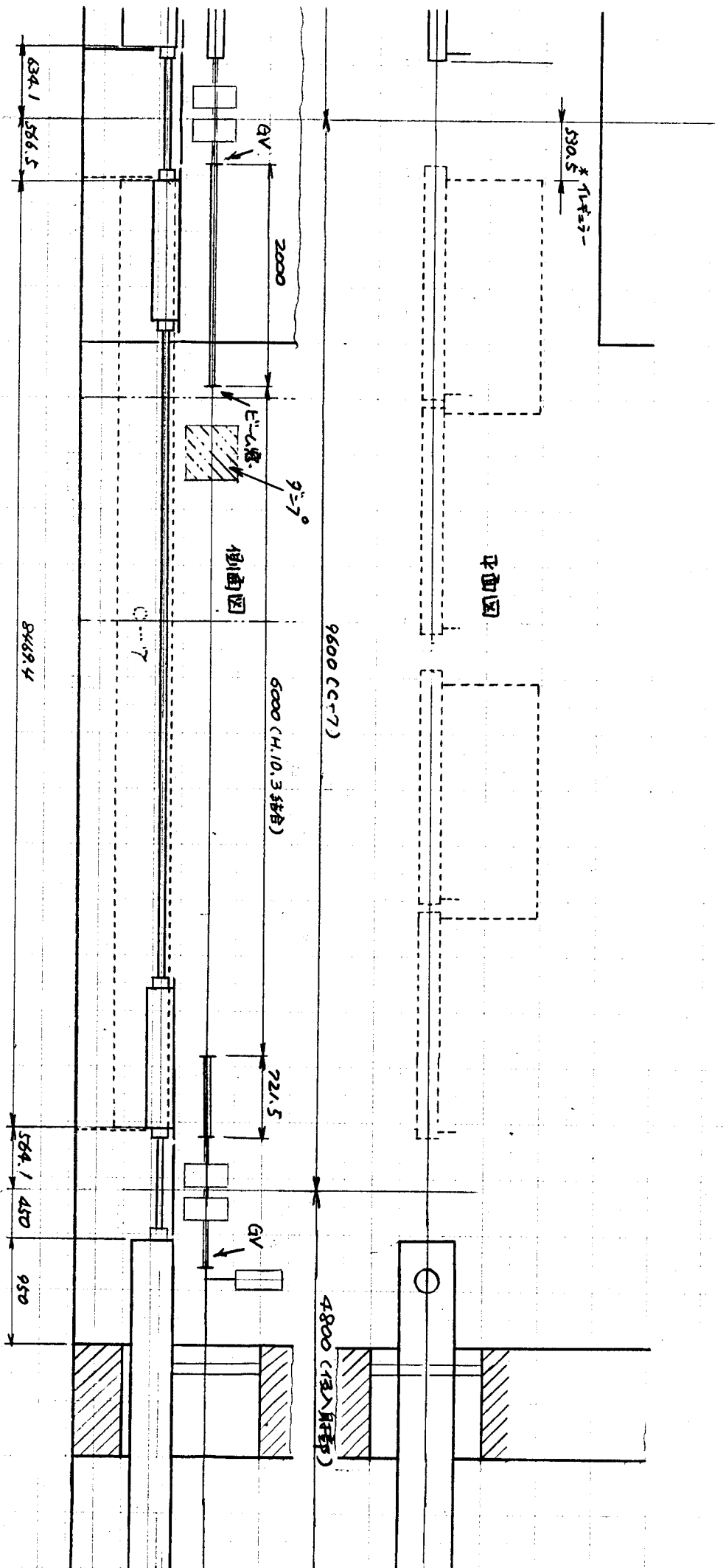
本メモは 96.11.29 仮入射部検討会にて要望された事をまとめたものである。

1. アライメントの重要性
 - (1) A~Zセクタ-位まで特に精度を上げたい。
 - (2) 加速管も重要であるが特にQを精度良く合せたい。
 - (3) 現在 0-1と1-1ユニット向があかしく素直に入射されていない。

2. 各ユニットの位置
 - (1) A1とA2の間直接ヒムラインを4277と乗る様にした。
 - (2) PH(スクリーン)の直接を4277をやりたい。
 - (3) Q277のを4277もやりたい。

- コメント
- (1) アライメントシステムを全体的に見直す要あり。
 - (2) 4月~のユニット設置作業に向い合わせる要あり。
 - (3) Bセクタ-格納ユニットになるが 架台のアライメントからやり直さるか(?)
 - (4) 旧e⁺L-ガ-ユニットの動作4277を移行する要あり。
(早期設置-----アライメント対策要)

(以上)



AE961125

PFX射撃B改造レーザーアイト増設部測量作業用必要機材

作成96.11.23

区 分	品 名	数量	仕 認		手 配		必要時期	備 考
			有	無	KEK	名称		
レーザー試験 (現在位置)	(1) 感度(20) 4個ト	4		○		○	H9.1.6	
	(2) 位置検出計	2	○					
	(3) 同上ケアル	2	△		○		H9.1.6	更新要.
	(3) 新レーザーユニット	1	△		○		"	改造中.
	(4) 光軸管改修					○	"	U項目組外部.
レーザー試験 (増設後)	(1) レーザー用基準プレート	2		○		○	H9.2.3	
	(2) 目上設置	2		○		○	H9.2.10	
	(3) 光軸管			○		○	"	レーザー〜C1, 2ユニット間, C7部
	(4) RP		△		○		"	増強要(新設部)
	(5) 同上機材			○	○		"	取組工事含む.
	(6) モニターケアル		△		○		"	当面は現在地外)延長.
増設部測量	(1) トランジスト	1	○					
	(2) オトバール	2	△		○		H9.1.6	1台修理中, 1台平置中
	(3) レーザー測距儀	1	○					137リ-要ス。
	(4) レーザーホーン	1	○					
	(5) 長尺巻尺	1	○					
	(6) 長尺コンパス	1	○					
	(7) スケールスタンド	2	△		○		H9.1.6	新品を補充要
	(8) 鋼尺(600)	2	△		○		"	"
	(9) マネージメント			○		○	"	
	(10) ホンキ	2	△		○		"	新品を補充要(インパクトタイプ)
	(11) 射撃台基準プレート	2	○					

区 分	品 名	数量	任 務		手 続		必要時期	備 考
			有	無	KEK	名航		
	(12) 高所振り下台	2	○					
	(13) 振り下げ	2	○					
	(14) 高所ハンジ台	1	△			○	H9.1.6	改造要
	(15) 鋼尺 (1m)	2	△		○		"	新品補充要
	(16) L-サ-4台	2		○		○	"	
A-Bセグ-部	(1) L-サ-ユニット	1	△		○	○		架台改修要, 動作仕の要
	(2) タ-テストBOX		△			○		位置調査要
	(3) 目上テラター			○	○			(2)項に合わせて補充要
	(4) 光軸管			○		○		
	(5) RP			○	○			設置工事含む。
	(6) E-サ-システム			○	○			
5-8 下流部	(1) 基準架台	1	○					旧E* 架台の利用。
	(2) E-サ-放り車台	1		○		○		
	(3) ビムラン高ハンジ	1		○		○		基準架台上に架設

PF入射端 B改造「加産ユニットプライム化」検討会メモ

96.11.21.

1. 日時 96.11.21(木) 9時30'~12時00'

2. 場所 KEK 3号館 7F 会議室

3. メンバー KEK: 榎本, 大沢, 小川 (各2名)
名航: 尾崎, 倉野

4. 検討資料 (1) 加産ユニット プライム化 ----- 96.11.19 稿 (全7ページ)
(2) 新建築 L-サ-設置用基準シート ----- 96.11.20 稿 (全1ページ)

5. 検討結果 (1) L-サ-プライム化試験は計画通り進める。---(H8冬工事スケジュール参照)
(2) SY3の基準高については 5-8ユニットF区画のLAYOUT決定後に再検討の事とする。----- (LAYOUT案 1/30 榎本主)
(3) SY3 基準高 1,200 の決定時期並に 変動許容量については SY3 プライム化責任者と調整し定める。---(小川主)

(4) 加産ユニットのプライム化は次のケースが考えられるが H9/2月のプライム化試験結果を見て見直す事とする。

ケース A H9/7~8月に C1~5-8までプライム化やり直し。

" B " C1~3-8まで " "

① この時は 4-1~5-8は現状のままとし次の処置とする
SY3への対応は この向でスタリオン化し済す。

② H10夏にプライム化をした時は

① SY3もそれに合わせてプライム化のやり直し

② 又は 5-7, 5-8でスタリオン化し済す。

(5) プライム化試験準備 ----- 必要な機材のリストアップ並に分担決め --- (1/30 倉野)

(6) 次回検討会。----- 5-(2), (3), (5)を 1/2以上の実施の事とする。

(7) L-サ-設置用基準シート ① カバーから振動が入って来ない様に防振対策をとる事。
② 旧E+L-サ-ユニットの設置を検討の事

PF入射器 B 改造 レーザーアライメント「旧 e⁺ レーザーユニット」の確認

96.11.21

A・Bセクタースインのレーザーは、旧 e⁺ レーザーユニットを使う計画になっている。(e⁻ トンネル入射器部に保管中)
新構築の線切り設置部に乗せられるが部品を欠けていた。

検査結果

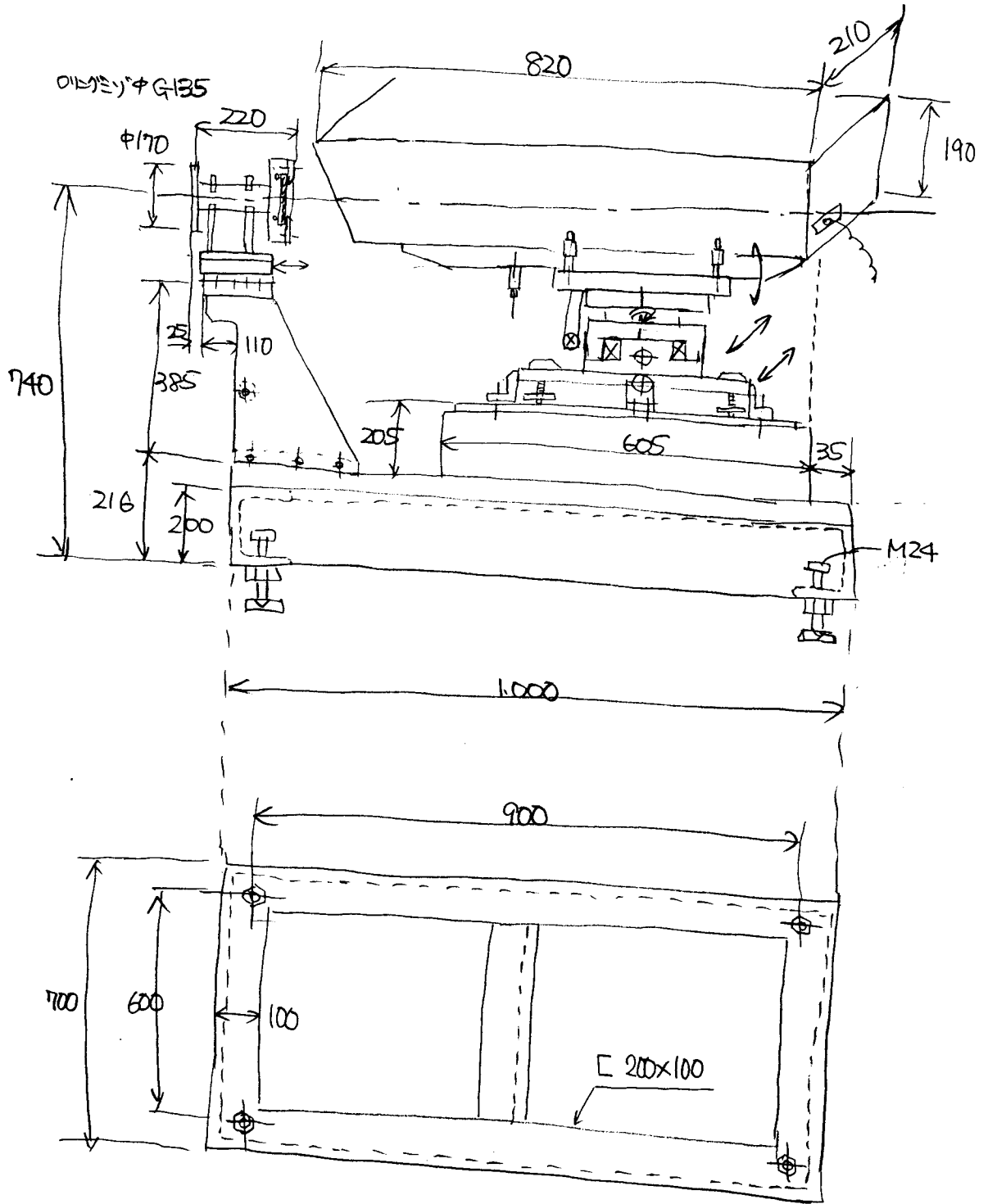
- (1) 定盤の上に置いて、かみ大さじ。----- P2 参照.
- (2) そのままでは中エ向が広すぎて乗せられない。
- (3) 設置部基準アライメント (96.11.20 概資料) に合せて改造が必要
- (4) 改造は
 - ① シヤキポイント中エ向の縮小
 - ② 基準アライメントの固定金具の追加
- (5) 改造作業はトヤマに依頼する。----- H9/1月下旬.

要確認事項

- (1) レーザーユニット
 - (2) 調整メカの動作
- 以上を改造前に実施する。----- H9/2月下旬.

(以上)

18e+L-サ-ゴ-ト

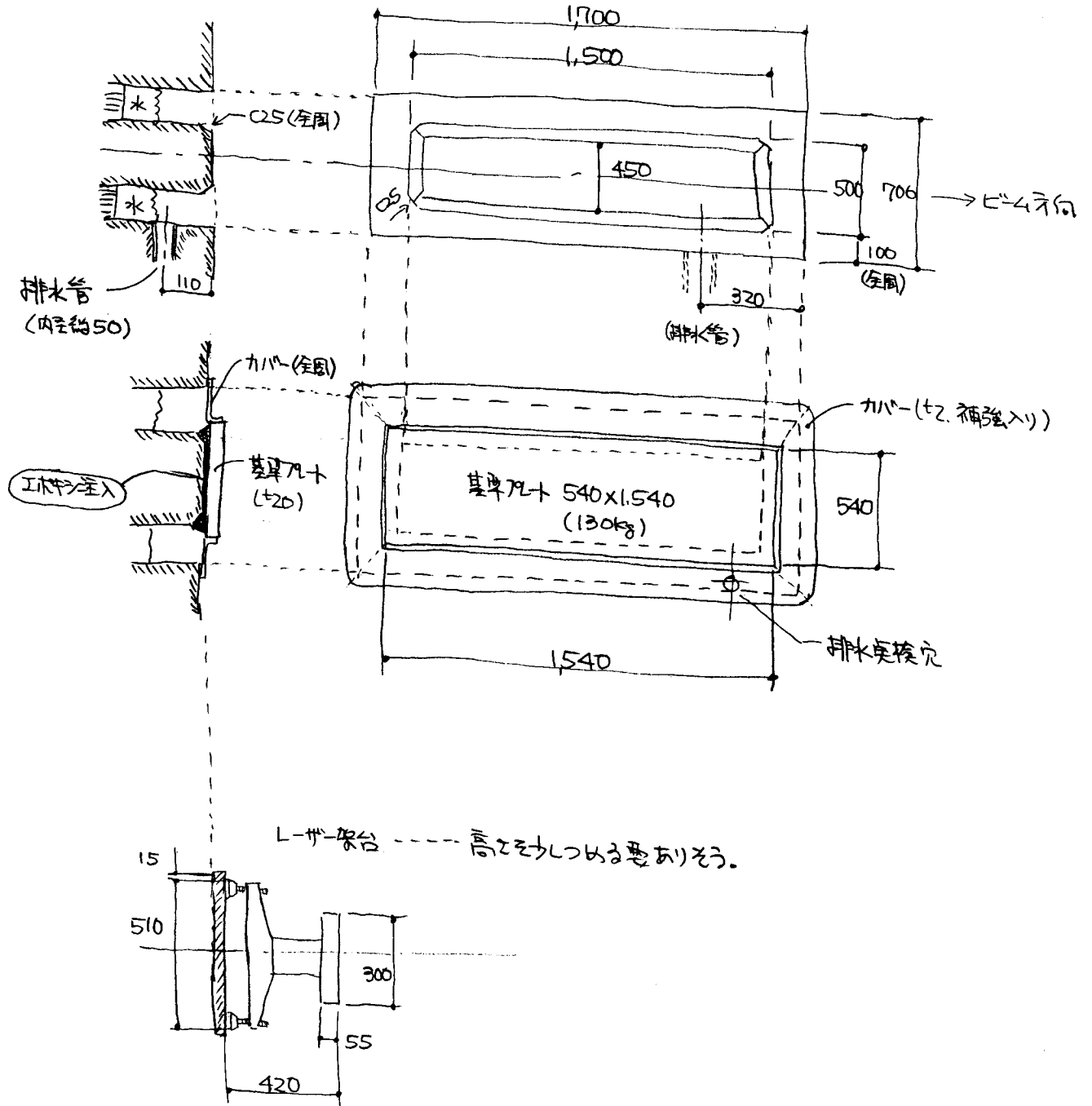


(メーカー: 松井製作所)

FF入射器B改造 新建築 L-サ-設置用基礎プレート

用意されている L-サ-設置 線(り)床は 巾寸が少し不足している事と コンクリート面
の凹凸があるため 基礎プレートを設置し L-サ-ユニットを安定化させた。.

基礎プレートは 加圧ユニット用に設置している 工和キシ 接着工法により設置する。(2ヶ所共)



(注) 本形状は Aセクタ-上流部のもの. Cセクタ-上流部も同一の事であるが要確認。